



【会派 NEWS】 2019(令和元)年 10月10日号 週刊 Vol.33
ご意見ご要望はお気軽に 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

異常事態 昨年度決算、採決できず

問われる西岡市長の問題解決能力

10月8日、小金井市議会は、令和元年第3回定例議会(通称「9月議会」)の全日程を終えて閉幕しました。9月2日から始まった長丁場の定例議会でした。

第3回定例議会では「異常事態」が発生しました。通常ですと、初日に昨年度決算が本会議に上程され、会期中に決算特別委員会を開催して内容を審査し、定例議会最終日の本会議で採決に付すのですが、今回は、決算を採決に付すことができない事態となったのです。

理由は2つあります。

1つは、教育委員会(学務課)職員による不正経理問題に関して、市長側が処理スキームをどう構築するかなどについて完全に答弁不能となってしまう、定例議会の最終日(10月8日)になって「大変申し訳ございません」とギブアップ宣言をしてしまったためです。当該不正経理は昨年度決算と密接に関係するため、市長から処理スキームに関する報告を受けないまま決算を採決したのでは、議会としても無責任な話になってしまいます。

もう1つは、公益財団法人小金井市体育協会の財務会計問題に関する私の質疑に対して、市長側から明確な答弁が出ないためです。市長が毅然と対応すれば、1か月であらゆる財務会計を透明化させ、完全解決できる事案なのに、西岡市長が問題解決に乗り出さないため、何年も混乱が続いています。

学務課職員問題、出口見えず

既報の通り、教育委員会(学務課)の若手男性職員が、学校施設の公共料金の支払いを長期間忘れていて、その発覚を防ぐために92万6017円を自費

で弁済し、領収証等を廃棄処分して証拠隠滅するという事件が起きたわけですが、問題解決の「出口」はまったく不透明な状態です(当該職員は8月末で普通退職しています)。

事件発覚から4か月以上が経過しているのに、西岡市長は、以下のことに関して、まったく答弁不能になっているのです。

- ① 当該職員の支払いは、法的にはどういう性格の支払いなのか？。寄付なのか？。代位弁済なのか？。あるいはその他なのか？。
- ② 当該職員には、市への返還請求権があるのか？。また、実際問題として、当該職員は市に返還請求しているのか？
- ③ 市には、当該職員への返還義務があるのか？。義務もないのに返還したら、市(市民)にとって損害ではないのか？。
- ④ 当該職員によって発生した遅延利息(2万8802円)が公費で支出されているが、これは当該職員個人が負担すべきものではないのか？。当該職員に請求をしたのか？。

西岡市長に対して問責決議

長期間にわたり何ら問題解決できない西岡市長に対し、市議会は「ガバナンス(統治能力)が欠如し、コンプライアンス(法令遵守)意識に欠ける西岡市長に対する問責決議」を賛成多数で可決しました。「問責決議」とは、「責任を問う決議」という意味です。

決議は本文で「学務課の事案については、答弁ができず、結局、決算の採決を見送る事態を生じさせた。本件は、教育現場の問題だけではなく、会計事務処理上の問題である。市及び教育委員会は、会

計処理の方向性を未だ示せず、決算特別委員会を終了できなかった。これら一連の事件について、市長の責任が問われるものであり、甚だ遺憾である」と、問題解決能力が問われる西岡市長を厳しく断罪しました。決議への賛否は以下の通りでした。

○賛成 情報公開こがねい(渡辺大三)自民党信頼(遠藤、湯沢、吹春、河野)共産党(森戸、板倉、水上、たゆ)公明党(宮下、紀、渡辺ふき子、小林)こがおも(白井)市民会議(斉藤)改革連合(篠原)ネット(田頭)カエル(片山)緑つながる(坂井)の 19 議員。

×反対 みらい(鈴木、村山、岸田、沖浦)の 4 議員。

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。

大きな公園求める陳情、不採択

市庁舎建設 賛成 10 反対 13

9月26日、市議会本会議において、市民団体が提出した「市庁舎と福祉会館の敷地内に大きな公園(広場)を確保することを求める陳情書」が採決に付されました。

陳情書の内容は以下の通りでした。



写真は、首都圏のある市役所に隣接する公園です。外周は緑化され、その内側がインターロッキング舗装の通路、その中は地面となっています。地面の上では多くの子どもたちが楽しそうに駆け回り遊んでいました。また、この公園の地下は駐車場として整備されています。駐車スペースは地下に入れて、地上の公園(広場)面積を大きくしているのです。これだけのオープンスペースが市役所の隣接地に確保されていれば、大災害時の対応も十分にできると思われます。

小金井市の市庁舎及び福祉会館建設の基本設計にあたっては、このような事例を参考に、平時から公園(広場)スペースを大きく確保し、それが大災害時には復旧拠点として使えるような整備をめざすべきです。

庁舎建設予定地付近は大きな公園がない「公園空白区」であり、平面駐車場敷地の相当部分を埋め尽くすような整備はすべきではありません。

よって、以下陳情申し上げます。

【陳情項目】

1 市庁舎及び福祉会館の基本設計にあたっては、平時から公園(広場)スペースを大きく確保できるようにしてください。

2 公園(広場)はアスファルトやコンクリートで覆うのではなく、地面の部分(芝生なども含む)を大きく確保してください。

3 どのような公園(広場)がいいかについては、設計業者任せではなく、継続的に協議ができる市民参加の場を設け、十分な検討をおこなってください。

起立採決の結果、賛成 10 反対 13 の僅差で陳情書は不採択となりました。賛否は以下の通りでした。西岡市長の与党議員 5 人に加え自公両党も全員が陳情書に反対。市民や子どもたちの声に背を向けています。私は引き続き、大きな公園の確保に向けて、市民の皆様と力を合わせて取り組みます。

○賛成 情報公開こがねい(渡辺大三)共産党(森戸、板倉、水上、たゆ)こがおも(白井)市民会議(斉藤)ネット(田頭)カエル(片山)緑つながる(坂井)の 10 議員。

×反対 自民党信頼(遠藤、湯沢、吹春、河野)みらい(鈴木、村山、岸田、沖浦)公明党(宮下、紀、渡辺ふき子、小林)改革連合(篠原)の 13 議員。

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。

脱ムダで市政を変える!

渡辺大三 プロフィール

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に26歳で初当選。以降7期連続当選(直近4期は無所属で立候補し、当選)。「脱ムダ改革」を掲げ、高額人件費問題など小金井市政のムダ遣いや不正、癒着、天下りを厳しくチェック。

現在=小金井の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」(代表=上田令子都議会議員)幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学生会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。

公式サイト www.daizou.org